

第34回 臨床研究推進啓発セミナー

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、安全で適正な臨床研究・治験の計画策定ならびに実施に必要な基本知識やコア・コンピテンシーのエッセンスを入門者でも習得していただくべく、「臨床研究推進啓発セミナー」を開講しています。

2020年12月10日(木)

参加費無料

要事前申込

18:00-19:00 Web配信形式での実施です。

対象：これから研究を始める若手研究者・研究支援者や大学院生、医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、事務職員などの病院職員、学生
(学外の方も参加できます)

Clinical Evidenceを創出するためのReal World Data利活用についての最近の話題

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 特任助教
松木 絵里 先生

近年医療ビッグデータやリアルワールドデータ(RWD)と呼ばれる、典型的な臨床試験から得られるデータ以外のデータを用いて得られた医療やヘルスケアに関する情報である、リアルワールドエビデンス(RWE)の利活用に注目が集まっています。米国においては2016年に21st Century Cures Actが調印されたことを受け、FDAよりRWE Programという形でその利活用の方向性についての考え方が整理され、提示されています。

本邦においても厚生労働省、AMEDが主導し、臨床開発の効率化、医薬品・医療機器等の開発競争力の強化、創薬や医療現場での活用を目的として、レジストリーを中心とした診療で得られるRWDを収集・解析する体制・システムをクリニカル・イノベーション・ネットワーク構想として実施してきました。ほかにも、医薬品の安全対策の高度化を目的として、電子カルテやレセプト等の情報を収集した医療情報データベースであるMID-NETが構築され、本格運用が開始されています。

本講演では、このようなRWDを用いた臨床研究についての国際動向を含めた現状について概説します。

▶ お申し込みはこちら → <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>



「受講管理システム」Webサイトより事前申込をお願いします。
お申込頂いた方には、後日、受講案内メールを送付致します。
当日は受講案内メールに記載された参加URLよりアクセスして頂く形式での受講となります。



お問い合わせ先：臨床研究推進センター教育研修事務局 (mail: keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp)

主催：慶應義塾大学病院臨床研究推進センター